

宮城県広瀬 ideal 高等学校 [全日制課程 (普通科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県広瀬 ideal 高等学校は、急激に変化する社会の中で多様化している生徒の興味・関心や進路希望に対応するため、また、学校生活や学習に困難さを抱える生徒を含む、多様な入学動機や学習歴を持つ生徒の学び直し等の課題に対応するため、学習面、情動面双方で個別最適化の視点を重視し、個に応じた多様な学びを提供するとともに、学習者中心の支援を行います。これにより、生徒の自律的な学びを実現し、自己の特性を生かしながら社会と調和して行動する、社会的に自立できる力を育成します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

次のような「自律的学習者として必要な資質・能力」及び「社会的自立に必要な資質・能力」の育成を目指します。

- 学習面、生活面双方での、自己効力感及び自己有用感
- 基礎的基本的な知識及び技能と、それらを適切に活用できる思考力、判断力、表現力
- よりよく問題を解決するために、自ら課題を見出し、主体的に考え、判断し、行動しようとする力
- 学びの在り方を自らが選択し、自律的に取り組み、自分の生活をデザインする、自身で判断し決定する力
- 他と協調し社会を形成していくという自覚と、多様性理解・自他尊重に支えられた協働する力
- 変化する社会の中で困難に直面しても、自分らしく前向きに対応できる力

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 学年の区分を設けず、必履修科目を含む74単位以上の単位修得で卒業することができる教育課程とします。
- 自身の生活スタイル、興味・関心、適性、進路希望等に応じて、生徒が主体的に教科・科目や学習時間帯を選択できる、柔軟な教育課程とします。
- ICTを活用した学習や授業により、個別最適な学びの実践を図ります。
- 学び直しに対応した科目、習熟度別科目、将来の社会的自立に有用な実践的な学校設定科目等を設定します。
- 単位制高等学校としての多様な科目の設置に加え、様々な学校外の学修を卒業に必要な単位として認定する、多様な学びの実現を図ります。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 大学進学等の進路希望を実現するために、自分で計画しながら学びたい生徒
- 多様な選択肢の中から、興味関心や適性に合わせ自己決定し、柔軟に学びたい生徒
- 芸術活動やスポーツ活動等のために、自由な時間を持ちながら学びたい生徒
- 集団生活が苦手だったり、対人関係等で不安を感じたりしているが、自分のペースで学びたい生徒
- 学ぶ意欲を持っており、基礎から学び直しをしたい生徒

学校名	宮城県広瀬ideal高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	普通科	募集定員	200人

選抜順序	ideal選抜 → 共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜	
募集人数	20人 (募集定員の 10%)
学力検査:調査書	5 : 5
学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。	

ideal選抜																					
募集人数	180人 (募集定員の 90%)																				
配点	全ての志願者について、意欲を多面的に見るために個人面接を行い、以下の方式により総合的に選抜する。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>面接</th> <th>調査書</th> <th>学力検査</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接重視方式</td> <td>100点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100点</td> </tr> <tr> <td>調査書重視方式</td> <td>27点 *1</td> <td>135点 *2</td> <td>—</td> <td>162点</td> </tr> <tr> <td>学力検査重視方式</td> <td>100点</td> <td>—</td> <td>500点 *3</td> <td>600点</td> </tr> </tbody> </table>		面接	調査書	学力検査	合計	面接重視方式	100点	—	—	100点	調査書重視方式	27点 *1	135点 *2	—	162点	学力検査重視方式	100点	—	500点 *3	600点
		面接	調査書	学力検査	合計																
	面接重視方式	100点	—	—	100点																
	調査書重視方式	27点 *1	135点 *2	—	162点																
学力検査重視方式	100点	—	500点 *3	600点																	
<p>*1 100点満点を27点満点到に圧縮する。</p> <p>*2 全学年・全教科の評定を1.0倍にする。</p> <p>*3 全教科の得点を1.0倍にする。</p>																					
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 面接重視方式は、面接の得点を基に、調査書の記載事項 (評定以外の特別活動の記録などの資料。以下同じ) も用いて総合的に審査し、選抜する。 調査書重視方式は、調査書点と面接の得点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。 学力検査重視方式は、学力検査点と面接の得点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。 																				

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態：個人面接 2 時間：15分程度 3 内容：出願時に提出する志願理由書を基に、以下の質問を行う。 (1)あなた自身について (2)志望動機について (3)入学後の生活について (4)その他 4 観点：(1)意欲・目的意識56点 (2)自己理解30点 (3)学校理解14点
	※2日目に実施	

社会人特別選抜	無
---------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書 評定は用いない 2 学力検査 75点 国語、数学、英語 3 面接 100点 1 形態：個人面接 2 時間：15分程度 3 内容：第一次募集と同じ 4 観点：第一次募集と同じ	合計
			175点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	